

問 住民主体の地区防災計画の考えは

答 災害時に備えた取り組み強化を支援



田中榮一議員

【防災について】

問 地域防災計画改定の進捗状況は。

村長 6月指名競争入札を行ない、落札者のアジア航測株式会社と業務委託契約を締結。現在、県の地域防災計画との構成の比較、国・県などのマニュアル、ガイドライン、神城断層地震などの近年の災害教訓、地域特性を精査している。

問 国が求めている住民主体の地区防災計画や、住民主導型の警戒避難体制づくりについての考えは。

村長 村では、防災減災に対してトップダウンの取り組みだけでなく、ボトムアップの取り組みを取り入れ、共助を充実させ地域防災力の向上を図るものであると認識している。

自主防災組織での取り組み、社会福祉協議会が先導する災害時支え合いマップ作りなど、各地区において災害時に備えた取り組みを考えている。

問 事前防災行動計画マニュアルの策定状況は。

村長 洪水警報が発令された時などには、総務課長と建設課長の判断により警戒配備を取ることとしており、河川状況の監視や、気象台からの情報収集を行うなどして、村民の生命や財産が脅かされる事象の発生がないかを注視している。避難情報発令については、「命を守る」ということを最優先に、発令基準を満たした場合は、即座に避難勧告等を発令し、併せて「空振り」があっても、「被害が無ければよかった」と思えるような村民の意識の醸成の必要であると感じている。

問 村内に設置されている雨量計の設置場所は。

村長 気象庁が設置しているアメダスは役場敷地に、国土交通省関係では、松本砂防姫川出張所、白馬岳、猿倉、八方山、

平川上流5箇所、長野県関係では、大楢川上流、犬川上流、白沢上流に設置しており、長野県河川砂防情報ステーションのウェブサイトで、10分間と1時間の実況雨量と累加雨量、土砂災害危険度、雨量予測等の情報が提供されている。

【山岳観光について】

問 村営頂上宿舎・天狗山荘の大規模改修の予定は。

村長 厳しい自然環境の特殊な立地にあることから、屋根や外壁に受ける損傷が絶えない。近年減少傾向にある登山客数や登山スタイルの多様化などあらゆる要素を考慮し、宿舎全体の将来像を描き、総合的に検討し判断していく必要があると考えている。

問 天狗山荘のトイレ改修は。

村長 設計内容を精査し、環境省に対して、来年度の事業実施に向け準備を進めている。

問 大雪溪ルートの今後の対策は。



役場に設置されているアメダスの雨量計

村長 山岳観光や登山者への安全確保の両面から、山岳関係者や環境省、林野庁など関係省庁を交えながら、新たな登山ルート整備に向けて検討していきたい。

【共同調理場について】

問 建設に向けての進捗状況は。

村長 11月中旬には詳細設計を発注し、国庫補助事業な

ので、着手は事業採択後平成29年6月頃と想定している。

問 建設費の総額と財源内訳は。

村長 総事業費6億円を想定し、内訳は国庫補助金6千万円、起債総額4億1850万円、一般財源が1億2150万円です。